

ひだまり



医療法人社団みつわ会
老人保健施設のぞみの園
施設長 佐藤久美

ご挨拶

まだまだ寒さが続きますが少しずつ春の訪れを感じられる頃となりました。皆様におかれまして益々御健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃から、当法人の運営につきましてご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

今年は、4月に介護保険制度と医療保険制度の報酬改定が同時に行われ大きな変化を迎える年です。当法人においても法人設立20周年や県内初となるサテライト型小規模介護老人保健施設（「サテライト老健」）2棟の開設と大きく前進する年となります。

この度の介護報酬改定において介護老人保健施設に求められるのは、在宅療養支援機能や医療ニーズ、認知症や看取りへの対応の強化です。これらの特徴を併せ持っているのがサテライト老健となります。

今年4月には、小真木原地域に「サテライト老健のぞみ」を、7月には、茅原地域に「サテライト老健ちわら」を開設する予定です。

ユニット型の「サテライト老健のぞみ」は、従来の施設と異なりご利用者の個性や生活のリズムに合ったケアの提供をいたします。

また、温泉を利用しての入浴はもちろんですが、地域交流の場となることを期待し「足湯」を設置いたしました。地域の皆様にもお気軽に楽しんで頂きたいと思っております。

「サテライト老健ちわら」は、近年地域における医療依存度の高い要介護者の受け入れ施設が少ないことを受け、重度の要介護者が手厚い看護・介護で安心してお過ごし頂ける施設となっております。施設内には、大型のスクリーンを備えた大きなホールもあり、地域の皆様からも映写会や交流会等で活用して頂ければと考えております。

今後もご利用者・ご家族の多様なニーズにお応えしながら、より良いサービスの提供をして参りますので宜しくお願ひ致します。



ひだまり Vol.44

医療法人社団みつわ会
山形県鶴岡市茅原町26番23号
<事務局> Tel.0235-25-8255

- ・老人保健施設 のぞみの園
- ・グループホーム ひだまりの家
- ・のぞみの園訪問介護サービス
- ・茅原クリニック
- ・ケアプランセンターひだまり
- ・有料老人ホームサニーハウス茅原
- ・有料老人ホームみつわ荘
- ・有料老人ホーム共栄荘
- ・有料老人ホームあじさいの家
- ・ライフサポートハウス千寿

発行日 平成24年3月1日
発行人 施設長 佐藤久美



建設中のサテライト老健のぞみ

新規事業

サテライト老健 のぞみ ちわら

建設中

Series 3

サテライト老健のぞみ

H24.2.22撮影



外観（北西側）



内部工事の様子

サテライト老健ちわら



H24.1.17 竣工式



H24.2.16 工事現場

「サテライト老健のぞみ」は平成23年10月27日の着工から約4ヶ月で、ここまで完成しました。外観は足場も取れ、建物完成まで内部工事のみとなり、4月開設に向け急速に準備が進められています。

「サテライト老健ちわら」は、2月8日、21日と住民説明会が開催され、住民の方々のご意見を頂きながら7月開設に向け準備が進められています。

県内初のサテライト型老健という期待と、建設が進むにつれ、増しているご利用者からの期待を背負い、職員一同日々新たな気持ちで前進しています！（千芳）

サテライト老健のぞみ 完成内覧会を開催！

利用に関心のある方々、地域住民の方もお待ちしております。

開催日：平成24年3月31日(土)、4月1日(日)
の2日間

時 間：11:00～12:00 13:00～14:00

申 込：お問い合わせ：0235-25-8255
「のぞみの園」までご連絡ください。

寒鱈祭

冬の味覚のひとつ「寒鱈」。寒鱈は大寒から節分の前までが、一番美味しく、低脂肪・高たんぱくで胃腸を温め、血行を良くし風邪予防にも良いといわれています。

今年も1月26日、27日の2日間、鶴岡市本町3丁目にある「梅津鮮魚店」社長 梅津繁良さんをお招きし寒鱈祭りを行いました。今年は、例年に比べ海が荒れることが多く、漁に出られる日が少ないといっておりましたが、2日間とも7kgを超える立派な寒鱈を準備していただき、あまりの大きさに、歓声と拍手が湧き起きました。

寒鱈は鱈づくしメニューとして振舞われ、目でも舌でも味わうことができ、ご利用者の方々は冬の味覚を堪能しておりました。（管理栄養士：本間）

庄内の冬は
やっぱりこれ



ボランティアで演奏してくれた
皆様方に感謝

美しい音色が 響き渡りました



いつも多くのボランティアの皆様方よりご来園頂き、感謝申し上げます。12月は「鶴岡第四中学校吹奏楽部」の皆様、1月は「フレッシュハーモニーいつき」の皆様、2月は男性合唱団の「デ・ザミ・アンテム」の皆様方がすてきな演奏をしてくれました。

私達職員は、素晴らしい演奏、合唱と、それを聴く楽しそうなご利用者の皆様方の様子に元気を頂いております。今後も、地域のボランティアの皆様方のご協力を頂きながら、ご利用者の皆様の笑顔の為に頑張っていこうと思いました。（渡部）



折りをこめて・・・ 鬼退治

2月3日、法人全体で節分行事が行われました。今年の鬼はダンボールに花紙で綺麗に飾り付けされた華やかですが、とても迫力のある鬼達でした。そんな鬼達が登場すると新聞紙で作られた豆を、ご利用者の皆様はそれぞれの想いを込めながら思い切りぶつけていました。自然に笑顔がこぼれ、楽しんだ後は甘納豆をおいしそうに食べていました。

「鬼は外」「福は内」、今年も1年、皆様にたくさんの中福が訪れますように・・・（田中）



内部研修会

腰痛予防体操の実技 & 介護援助技術の実技



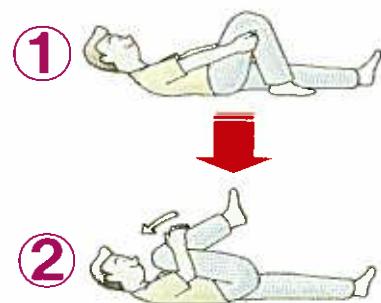
今回の内部研修会は、福祉施設に従事する人なら1度は経験する腰痛について2本柱で行われました。

一方は腰痛のない職員・事務職員を対象にした腰痛予防体操の実技。又一方では看護・介護職員で腰痛のある職員を対象にした介護援助技術の実技についてでした。

ここでは腰痛予防で実際に行った、簡単で長続きしそうな体操を2つご紹介したいと思います。（丸屋）

腰痛予防パターン1

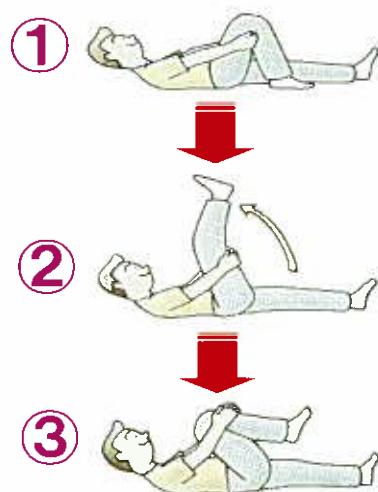
片側の足を伸ばしたまま、もう片方の足の膝を両手で抱え、胸にジワッと引きつける。そのままの姿勢で10数秒、そしてゆっくり元に戻す。反対側も同じように。



※このストレッチを含めた体操を各10回程度で1日2回行う

腰痛予防パターン2

片側の膝を立てた状態から、ゆっくり膝を伸ばす。そのまま10数秒、ゆっくりおろす。反対側も同じように。



老人保健施設のぞみの園
介護主任 小林マキ

笑顔が戻った日

私の祖父は、90歳になるが在宅での生活を希望している。ヘルパーを利用し、生活を維持している。祖母が倒れてからは家事全般を自分で行い、生活してきた人である。ヘルパーを利用する事に抵抗があり、受け入れるまで時間がかかったのは言うまでもない。

その後は、ヘルパーを利用しながら在宅生活を行っていたが、昨年の秋に体調を崩し、在宅での生活を継続することが難しい状況になった。身体状況の変化により、できない事が増えてしまったが、本人の意思は以前と変わらず私達の意見は受け入れてはくれなかつた。一時は、寝たきりとなり、自分ひとりでは起きている事が出来なかつた。精神状態も不安定で、被害妄想が出現し、険しい表情の日々が続いた。現在は、以前より疲労しやすくなつたが、食事、排泄は自分で行えるまでに回復した。私達の心配は尽きず、不安要素は多くあるが、本人の納得できる環境を作つてサポートしていくことで祖父の笑顔は戻ってきた。

介護する側もされる側も、一人で頑張るには限界がある。できない事が増え、辛い思いをしているのは本人である。元気な姿を見てきた家族だからこそ、本人と同様に辛い思いや受け入れるまで時間がかかるのは当然のように思う。お互いの思いに寄り添い、環境の変化に向き合っていくことで肩の力が抜け、笑顔が見られるのだと身にしみて感じた。いつまでも今回の学んだ事を忘れずに、利用者様と向き合っていきたい。